

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科				単位数	授 業 形 態				
総合演習Ⅱ (Overall Exercises on Civil EngineeringⅡ)	選	大久保 俊治、 中本 純次、辻原 治	5 学年 環境都市工学科				1	半期 週 2 時間				
授業概要	重要な基礎科目を理解した上で、環境都市工学の専門技術として、「材料」「環境工学」「衛生工学」「橋梁工学」「河川工学」「計画」等に関する基礎知識を総合的に復習し、基本的問題の演習を行う。											
到達目標	「材料」「環境工学」「衛生工学」「橋梁工学」「河川工学」「計画」などに関する基礎専門事項を説明できる (C-1)											
評価方法	演習ノートの内容評価 (50%)、Q&A・演習実施状況 (50 %) で評価する。60点以上を合格とする。											
教科書等	[教科書] 米田著 土木職公務員試験 専門問題と回答 (選択科目編) 大学教育出版											
内 容										学習・教育目標		
第 1 週	オリエンテーション									B C-1		
第 2 週	土木材料 (鋼材)									B C-1		
第 3 週	土木材料 (コンクリート)									B C-1		
第 4 週	橋梁工学									B C-1		
第 5 週	測量									B C-1		
第 6 週	衛生工学 (水道)									B C-1		
第 7 週	衛生工学 (下水道)									B C-1		
第 8 週	環境工学 (水質汚濁)									B C-1		
第 9 週	環境工学 (大気汚染)									B C-1		
第 1 0 週	土木施工									B C-1		
第 1 1 週	耐震工学									B C-1		
第 1 2 週	河川工学									B C-1		
第 1 3 週	海岸工学									B C-1		
第 1 4 週	交通・都市計画									B C-1		
第 1 5 週	建設一般									B C-1		
第 1 6 週												
第 1 7 週												
第 1 8 週												
第 1 9 週												
第 2 0 週												
第 2 1 週												
第 2 2 週												
第 2 3 週												
第 2 4 週												
第 2 5 週												
第 2 6 週												
第 2 7 週												
第 2 8 週												
第 2 9 週												
第 3 0 週												
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
					◎		◎	◎			◎	

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

## 総合演習Ⅱ 5学年

環境都市工学の全体の技術について、基礎知識を総合的に身につけるために入社試験、公務員試験等の専門試験問題の演習を行う。主な内容は以下に示すとおりである。

### 1. 土木材料の基礎知識（第1 - 3週）

オリエンテーション後に、鋼材、コンクリート、アスファルトなどの材料について、基礎的な演習を行う。

### 2. 橋梁工学・測量・環境工学・衛生工学に関する基礎知識（第4週—9週）

専門科目の開設時期を考慮して、橋梁工学、測量について、基礎的な演習を行う。その後、環境計画論的な内容として環境問題の一般論と対策・施策について、水質汚濁、大気汚染、地球環境に区分して、演習を行う。また、環境に関する社会基盤整備に関して、上水道、下水道の各施設の役割と計画手法について演習を行う。このような演習を行うことにより、基礎的な問題解決能力を身に付ける。

### 3. 材料・橋梁工学に関する基礎知識（第10 - 15週）

耐震工学、土木施工、都市計画、河川工学、海岸工学、建設一般について、幅広い演習問題を実施して、基本的な問題解決能力を身に付ける。